

準備会の開催概要

- 1 日 時：令和4年7月26日（火曜日）
13時30分から15時30分
- 2 場 所：東京都庁第一本庁舎21階 21D会議室
- 3 内 容：（1）東京都の水産業の現状及び課題
（2）東京の水産業振興に向けた意見交換

準備会における意見の概要①

| 分野 | 主な内容 |
|----------------------|--|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none">・ 海況変化や人口減少の中で、漁業や漁村の生き残り策は、全国的な問題・ 説明のあった都の水産業の課題は、全国的な共通課題でもある・ 漁業は人と人の繋がりが大きい分野。相互のコミュニケーションが大切・ やる気ある人達が取組を先行実施し実績を出せば、取組は自ずと波及・ うまく実施できている地区には、核となるコーディネータが存在・ 立場は違っても同じ思いの人々が知恵を出し合い行動を起こすこと重要 ほか |
| 環境保全 (資源管理、漁場造成等) | <ul style="list-style-type: none">・ キンメダイの資源管理には、国や関係県等との連携が重要・ キンメダイの漁獲努力量を分散し、資源の維持回復に繋げる施策が必要・ 海洋環境が変化する中、漁場造成は新たな種への転換も視野に入れるべき・ 洋上風力発電を漁場造成等、漁業や地域の活性化にもつなげられないか・ ブルーカーボンは、漁場保全や漁業者の副収入にもなり得る ほか |

準備会における意見の概要①

| 分野 | 主な内容 |
|---------------------|--|
| 人材育成 (女性、担い手) | <ul style="list-style-type: none">・ 漁業を経済的、流通的に成り立つ生業にしていくことが必要・ 女性部活動は、全国的に世代交代、活動の転換期に入っている・ 加工事業では、コロナ禍を経て惣菜系（ミールキット等）の開発は有望・ 離島におけるオンライン環境の整備は急務・ 漁業をジェンダーレスな産業にしていくべき・ 島の場合、人材ネットワークはせい弱になりがちでその強化は必要・ 漁業後継者は、地域の担い手でもあるとの観点で育成することが重要・ すべてにおいて、人材育成が様々な問題解決の早道 ほか |
| ブランド化 (流通、販売開拓等) | <ul style="list-style-type: none">・ 東京は、世界有数の水産物のマーケット・ 食文化、それを支える人材も豊富で、その強みを施策に活かすことが重要 ほか |

準備会における意見の概要①

| 分野 | 主な内容 |
|----|--|
| DX | <ul style="list-style-type: none">・ IT化は手段であって目的ではない。・ 目的とIT導入との溝を埋める、現場に寄り添うプレイヤーが必要・ システムを作って終わりではなく、改良を加えていくことが重要・ 陸上養殖は、獲る漁業の不足分を補うだけでなく、新規参入促進も可能・ 陸上養殖は、大消費地に近い都内で実施することで優位性発揮が可能 <p style="text-align: right;">ほか</p> |